



# 北見西ロータリークラブ会報

2024～2025年度クラブテーマ

《明るく・楽しく・元気よく

広げよう親睦の輪！深めよう絆！育もう奉仕の精神！》

こころ

■創立日 昭和46年4月29日(1971/4/29)  
 ■承認日 昭和46年5月27日(1971/5/27)  
 ■例会場所 ホテル黒部(7条西1丁目)  
 TEL 23-2251  
 ■毎週木曜日 12時30分～13時30分  
 ■事務局 TEL 25-2824

■会長 西村 清一 ■会長エレクト 松井 順仁  
 ■副会長 山本 英敏 ■幹事 迫田 圭太



第2500地区ガバナーテーマ

「ロータリーに参画しましょう！ 誰かのために、あなたのために、自分のために」

本日のプログラム

第2519回例会

2025年3月6日(木)

ホテル黒部

ゲスト卓話「北見市の水道水はどんな水？」

北見市上下水道局 浄水場 管理課 係長 浅野 優氏 環境保全委員会

第2518回 例会記録

2025/2/27

会長挨拶

西村会長



皆さん、大変お疲れ様でございます。今日もたくさんの方のメンバーにご参加をいただきまして有難うございます。コロナの影響で出席率が上がらない状況でしたが、石田出席委員長の尽力のおかげで前回の例会出席率が90%を超えました。きっと、石田委員長が陰でいろいろと働きかけてくれたおかげだと思っておりますのでご継続をいただければと思います。

先ほど親睦委員会からご紹介がありましたけれども、本日は地区で母子の健康増進委員会委員長を務められている、そしてR I 2500地区第6分区ガバナー補佐、ガバナーノミニー・デジグネートとして大変活躍されております帯広南RCの小田衣代様をお招きして、後ほど講話をいただくことになっております。宜しくお願い致します。そして、チーフセクレタリーとして花房浩一様、帯広南RC会長の佐藤みゆき様、ご来訪いただきまして誠に有難うございます。短い時間ではありますが当クラブの例会を楽しんでいただきたいと思います。

さて、先週ですが市内4RCの麻雀大会がございました。何と西RCは団体優勝しました。断トツとまではいかなかったのですが僅差で優勝しました。また、個人戦では首位が同一得点で当クラブの千葉会員が準優勝。同点でしたので3回戦の得点が多い方が上位ということで、残念ながら準優勝ではありましたがけれども大変ご活躍をいただきまして有難うございます。また、参加をいただいた皆さんからは雰囲気がいつもと違うねと好評をいただきました。笑いもあり、ちゃかしもあり、そして麻雀の知識の無い今井親睦委員長には非常にスムーズに進行していただきました。麻雀の専門用語にはフリガナを付けて、汗をかきながら一生懸命説明をしていただきました。親睦委員会

天気 ☁ (例会時) 最高気温 -1℃



昼食

地鶏しおのスープ仕立て  
 ライス サラダ  
 デザート コーヒー

■ゲスト・ビジター 市川親睦活動委員

国際RC第2500地区ガバナー補佐  
母子の健康増進委員会

委員長 小田 衣代さん

帯広南RC

会長 佐藤みゆきさん

チーフセクレタリー 花房 浩一さん

■ニコニコボックス 伊東親睦活動副委員長

近江会員

今日、誕生日で48歳になりました。年男、がんばりませう！

山本会員

一足先に町内会長になりました。ガンバリませうね。

棧会員

いよいよIMもまじかにせまってきました。西クラブ会員全員の力を集結し、全会員の総意で一つ丸となって成功させたいと願っております。もう一息何卒よろしくお願いたします。

松井会員

10年ぶりに高知へ行って来ました。おいしいお酒とカツオのたたきをいただきました。でも寒かったです。

ご来訪の小田衣代様よりお志をいただいております。

の皆さんにも大会を盛り上げていただき、お手伝いもいただき大変有難うございました。せっかく本年度優勝しましたので、来年2連覇を狙って優勝していただければと思います。

話は変わりますがロータリーにとって2月は大事な月として、1905年にポールハリスの提案で親交を深めるためのクラブ作りが行われました。メンバー同士信頼のうえで、ビジネスが循環するようになればそれぞれの仕事も上手くいくという提案に賛同したのが友人3人、シール、ローア、ショレー。120年前の1905年2月23日にロータリーが創設されたということでございます。やがて、それぞれの会員が友人たちを紹介し、回を重ねるごとにメンバーが増えていき、集会で会員の店や事務所を順に回るということでロータリーという名称が付けられたということでございます。ポールハリスの思いが連年と受け継がれ、120年もの長き時を刻み、今自分がこの西RCに所属していることに誇りを持ち、感謝をしているところでございます。そして、今日は3冊の本をご紹介します。1つはポールハリス物語で、非常に薄い本ですがポールハリスの生い立ちからロータリーを作り上げるまでの事が書かれた漫画本です。読みやすい本ですので、興味がある方は購読いただければと思います。日本のロータリーの父とも言われている米山梅吉物語。これも同じところから出版されている薄い漫画本です。生涯奉仕に捧げた偉人ということで米山奨学生の部分で皆さんご存じかと思いますが、この2つの本はお読みいただきたい。特に新入会員の方にはお読みいただければと思います。3冊目ですがロータリークラブに入ろう。ご存じでしょうか。昨年の地区協議会で講話をいただいた田中久夫さんが書かれた本なのですが、参加された方記憶にないでしょうか。高崎RC所属でRI 2840地区ガバナーにも就任されて、いろいろな役職を歴任してきたからこそ書ける内容だと思っております。田中さんはクラブの会長時に51名の新入会員を招き入れたということで有名な方でございます。中身としてはロータリーの本質とは何なのか、ロータリアンとしてどうあるべきか、あるいは組織と役割、会員増強の重要性などが書かれています。新入会員はこの3冊を読むと7~8割でロータリーを熟知することが出来るだろうと思います。決して高い本ではありませんので是非読んでいただきたいと思います。ロータリーに関する本がありましたら、またご紹介をさせていただきたいと思います。

本日の例会は小田衣代様の講話となっております。楽しみに拝聴させていただきますので宜しくお願い致します。短い時間ではありますが、楽しく実のある例会でありますことを念じ例会冒頭の会長挨拶とさせていただきます。

## バナー交換



## 幹事報告

## 迫田幹事

- 1) 3月6日に開催予定のパティッターさんの送別会について、出欠回答が未提出の方は本日までにご連絡をお願い致します。
- 2) 次週例会終了後に理事会を開催します。資料未提出の委員会は明日までにご提出をお願い致します。
- 3) ホテル黒部様よりお願いがありました。例会後に理事会、打ち合わせ等で会場を使用する場合は、必ず事前にお知らせいただくようお願い致しますとのことです。30分以内であれば調整可能とのことです。それ以上の場合は別室を手配することになりますのでご協力をお願い致します。



村田プログラム委員長より挨拶の後、R I 2500地区 母子の健康増進委員会委員長 小田 衣代 氏に卓話をしていただきました。

「本年度の活動と現在までのご報告」

R I 2500地区の小谷ガバナー肝いりの委員会でございます。新たに母子の健康増進委員会が作られました。委員は各分区から1名ずつ、私を含め12名で活動しております。5分区からは美幌RCの

分区	委員名	所属RC
1分区	藤井 久子	(美幌RC)
2分区	藤本 雅子	(美幌RC)
3分区	風川 志保	(旭川南RC)
4分区	飯下 理香	(美幌RC)
5分区	早野 加子	(旭川北RC)
6分区	高橋 明子	(美幌RC)
7分区	後藤 秀子	(帯広RC)
8分区	一宮 綾子	(帯広北RC)
9分区	堀内 恵美	(帯広南RC)
10分区	深澤 佳子	(帯広南RC)
11分区	佐藤 みゆき	(帯広南RC)

藪下理香様に参加いただいております。

国際RCは次の7つの重点分野に対し奉仕活動に取り組んでおります。平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、環境。そのうちの母子の健康について今後取り組んでいきたいと思っております。

母子の健康についてですが、毎年5才未満で命を落とす子供は世界で推定590万人いると言われております。原因は栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりでございます。母子を救うためのロータリーの取組みとしまして、教育、予防接種、出産キットであったり移動クリニックなどありとあらゆる方法で母子の健康を推進しております。また、女性を対象にHIV母子感染の予防、母乳による授乳、病気の予防に関する教育も行っております。私たちはこの数年で新型コロナウイルスの感染拡大が女性の仕事や暮らしに大きな打撃を与えている実態を知りました。そのなかで生理用品の支援を必要としている人が増えているという声を聞き、2024-2025年度R I 2500地区母子の増進健康委員会では持続可能な母子の健康の取組みとして生理の貧困の問題に取り組むことと致しました。

生理の貧困とは何かと言いますと、生理のための衛生用品や教育、衛生施設、廃棄方法に対して十分にアクセス出来ないことを言います。世界で5億人以上の女性が陥っているとされております。生理の貧困が起こる原因と背景には1つ目に恥ずかしいものだと思う、生理についての意識が恥ずかしい、隠すものという考えがあります。

生理に関する知識はどこで得るかと言いますと母親からは47.6%です。また、学校の授業や課外活動、インターネットの検索、女性の同級生や友達から知識を得ていますけども知る機会が非常に少ないということがございます。2つ目に収入が少ないということがあります。

経済的な理由で生理用品が購入出来ない。新型コロナウイルス感染拡大による収入格差の拡大の問題があるようでございます。1か月あたりの生理に関わる出費はいくら位かと言いますと、2,500円以下が34.8%、2,501円から5,000円が14.4%、全く分からないという方もおられまして、お金をかけられないというのが現実なのかと思っております。

3つ目に相談しづらいということがあります。生理についての学びが非常に少なく、生理について学ぶ機会があっても授業に対する満足度が低い傾向にあります。生理は隠すものという考えや、何か困っていても我慢をしてしまうことが起こっているようです。生理に関する授業の満足度としては男性が24%、女性が34%と非常に知る機会が少なく、男性にも生理の知識がもっと必要かと思っております。

次に生理の貧困が招く問題には具体例として何があるかと言いますと、生理用品を交換する頻度や回数を減らしている、トイレットペーパーやティッシュペーパーで代用している、家族や同居者に生理用品を譲ってもらう、友達に生理用品を譲ってもらう、職場の同僚や知人に生理用品を譲ってもらう、民間団体や行政、学校などで無償配布されている生理用品を使用する、タオルやガーゼなどで代用している。

適切な対処が分からず生理の貧困を招いていると考えられています。次に不適切な対処による、身体的な症状としてどのようなものがあるかと言いますと、不適切な対処によって起こる症状でかぶれたり、痒みがあったり、外陰部の痒みの症状がでたり、おりものの量や色の異常、外陰部などの発赤や悪臭、膣内に入れたものが取れない、こういったことが起こっているようでございます。

ロータリーはこんな活動をしています  
 教育、予防接種、出産キット、移動クリニックなど、ありとあらゆる方法で母子の健康を推進しています。また、女性を対象に、HIV母子感染の予防、母乳による授乳、病気に関する教育も行っています。

生理の貧困が起こる原因・背景  
 1. 恥ずかしいものだと思う  
 2. 収入が少ない  
 3. 相談しづらい

生理の貧困が招く問題  
 1. 不適切な対処による身体的な症状  
 2. 女性の機会損失  
 社会の損失

日本での平均 6828億円

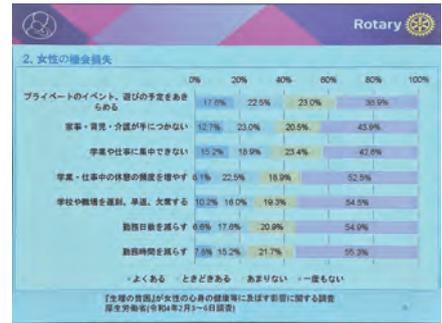
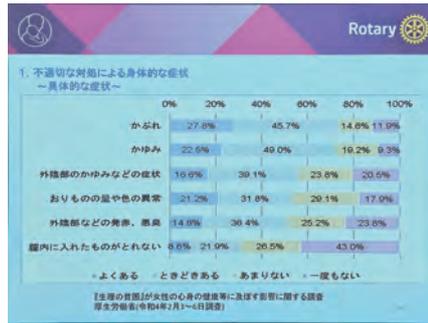
(新日経デジタル2023.1.13)

なぜ生理の貧困が起こるのか?  
 1. 恥ずかしいものだと思う  
 生理についての意識が恥ずかしい、隠すもの

生理に関する知識はどこで

母親	47.6%
学校の授業・課外活動	22.8%
インターネット検索	12.2%
女性の友達、同級生	1.8%

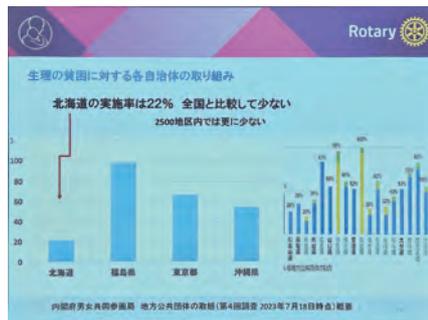
2つ目に女性の機会損失ということで生理用品が思うように手に入らないことにより、何が起ころうかといいますとプライベートのイベントや遊びの予定を諦めてしまう、家事や育児、介護が手につかない、学業や仕事に集中できない、学業や仕事での休憩の頻度を増やしている、学校や職場を遅刻、早退、欠席する、勤務日数を減らす、勤務時間を減らす。こういったことが起きております。次に日本でこのような社会の損失があります。



先ほど女性の機会損失で起こりうったことが社会全体、経済活動を含めまして日本で年間6,828億円あると言われております。

次に、生理の貧困に対する全国のナプキン設置に対する取組みとして北海道は22%。全国と比べて非常に少なく2500地区では更に少ないことになっております。福島県が98%、東京都で67%、沖縄県で55%となっております。

北海道の各自治体でナプキンの取組みをしている状況ですが、道立の学校には女子トイレに全校置いてあります。札幌市も市内小中学校、私立及び付属には小中学校の各トイレに置いてあります。帯広市も小中学校の各トイレに置いてあります。網走市は学校ではなく市役所、保健センター、サポートセンターなどに置いてありますけれども窓口に行っても必要の方は頂くという形になっております。北見市もこのような取組みをしていただきたいと思います。先日、美幌RCに行きまして同じお話をさせていただきました。美幌は各学校の女子トイレに生理用品を置いてあるようです。十勝管内はほとんどのところが置いてありまして音更、上士幌、鹿追、豊頃、清水、芽室、更別、大体置いてあります。



自治体	実施率	取組み内容
北海道	22%	道立学校に全体的に設置している
札幌市	22%	市内小中学校(公立)に設置している
帯広市	22%	市内小中学校(公立)に設置している
網走市	22%	市内小中学校(公立)に設置している
北見市	22%	市内小中学校(公立)に設置している
旭川市	22%	市内小中学校(公立)に設置している
稚子市	22%	市内小中学校(公立)に設置している
紋別市	22%	市内小中学校(公立)に設置している
名寄市	22%	市内小中学校(公立)に設置している
中川市	22%	市内小中学校(公立)に設置している
美幌市	22%	市内小中学校(公立)に設置している
十勝管内	22%	ほとんどのところが設置している

生理用品の提供にいろいろ工夫されておりますけれども、広報誌ですとかメールマガジン、LINEやFacebook、YouTubeやホームページに加えてInstagramなどのSNSや母子手帳やアプリを活用して広く周知をしているところもあります。学校や役場、コミュニティセンター、若い女性が来所する検診会場などでポスターなどを掲示しているところもあります。

学校のトイレに生理用品を設置し全ての児童生徒、保護者にメールで周知しているところもあります。テレビ局や新聞社に対して生理の貧困の取組みについて取り上げてもらえるよう取材活動を行っているところもあります。生理用品の工夫として、各自治体において生理の貧困の支援のガイドブックを作ったり、リーフレットを作成しているところもあります。窓口に、生理用品がここにありますよというチラシを貼って、そこに指を差すと黙って職員の方がくれるというところもあるようですし、カードを作ってカードを窓口で差し出すと生理用品を頂けるという自治体もあるようです。その他に窓口で意思表示カードを提示して生理用品を頂くというところもあります。スマートフォンを画面に提示すると窓口で頂けるところもあります。電子申請をしているところもありますし、社会福祉協議会などで渡しているところもあります。学校での提供にあたっては、一人一台タブレットが配布さ



した。各分区のガバナー補佐に小谷ガバナーの講演をお願いされまして、6分区は去年の9月18日に音更中学校で性感染症と避妊の大切さをテーマにガバナーの講演をさせていただきました。

今年度の6分区の活動報告のなかで帯広北高校へ支援プロジェクトとしまして、去年11月13日にナプキンの贈呈をさせていただきました。帯広ローターアクトと共同で地区補助金を使って行い、十勝毎日新聞に記事が掲載されました。今年度アンケート結果で支援を希望した教育委員会へ生理用品の支給を実施させていただきました。全部で27,200個を贈呈させていただきました。地区補助金を使いまして、母子の健康増進委員会の地区事業としまして1年目はアンケートだけで終わる予定でしたが小谷ガバナーの意向で早速地区補助金をつけていただきまして2500地区全部で行うことになり、手を挙げました5つの分区で行うことになりました。5分区は藪下さんですが、松浦ガバナー補佐のご協力がありまして、4月8日にオホーツク社会福祉専門学校で2時半から小谷ガバナーの講演をさせていただいてナプキンの贈呈をさせていただきます。皆さんご都合がつけば参加して講演を聞いていただければと思います。非常にいい講演でして子供たちは真剣になって聞いています。私としては父兄に聞いていただきたいお話でございました。母子の健康増進会は3年継続していきます。1年目はアンケート調査をしてメンバーの意識向上のための勉強会を、2年目は各分区にて講演や生理用ナプキンの配布をしていきます。実績の無い委員会でございますので、いろいろ戸惑いましたが皆さんのご協力ですべてのことが決まりました。本当に有難うございます。ロータリーは地域社会が自力で母子の健康を守れるような仕組み作りを推進しています。予防可能な原因で母と子供が命を落とすことがないように女性と子供に健康をもたらす活動をしていきます。

ご静聴有難うございました。

今年度の2500地区6分区の活動経過報告

アンケート結果より支援を希望した機関へ生理用品の支給を実施

団体名	金額(円)	数量	備考
帯広市教育委員会	529,000	1500	1500個/1500個
帯広市保健委員会	224,000	700	700個/700個
宇布川町教育委員会	6,000	200	200個/200個
紋別町教育委員会	948,000	3000	3000個/3000個
大樹町教育委員会	1,000,000	3300	3300個/3300個
大樹市教育委員会	5,000,000	16,500	16,500個/16,500個
大樹市保健委員会	1,200,000	4000	4000個/4000個
合計	28,000,000	27,200	27,200個/27,200個

高別町役場にて  
大樹町役場にて

各分区の進捗状況

第1期2500地区 母子の健康増進委員会 地区補助金 地区活動決定事項

分区	担当	講演題目	学校	ナプキン配布場所	ガバナー補佐
1分区	藤村	成定	天来中学校	ツルハシクラブ 帯広市保健委員会	藤村
2分区	藤村	2025年4月8日(水)	オホーツク社会福祉専門学校	ツルハシクラブ 帯広市保健委員会	藤村
3分区	藤村	14 - 19	北見市立南小学校	ツルハシクラブ 帯広市保健委員会	藤村
4分区	藤村	2025年5月20日(水)	北見市立南小学校	ツルハシクラブ 帯広市保健委員会	藤村
5分区	藤村	13・15・14・15	北見市立南小学校	ツルハシクラブ 帯広市保健委員会	藤村
6分区	藤村	成定	天来中学校	ツルハシクラブ 帯広市保健委員会	藤村

母子の健康増進委員会は3年継続

1年目 アンケート調査  
メンバーの意識向上のための勉強会

2年目 各分区内にて、講演、生理用ナプキン配布

3年目 地域社会に波及させる

地域社会が自力で母子の健康を守れるような仕組みづくりを推進しています。

予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことがないように、女性と子どもに健康をもたらす活動を行います。

ご静聴ありがとうございました

ロータリーのマジック

ROTARY CLUB KITAMIHESI JAPAN

■ 例会予告	3月13日	情報集会報告	R 情報委員会
	3月20日	法定休日④	
	3月27日	会員卓話	小村会員 プログラム委員会

出席報告		石田出席委員長						
	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した免除者の数 (D)	事前メイクアップ (E)	事後メイクアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	2月27日	65 (休会者 3名)	11	54	9	0		85.7%

※但し、休会者3名を含む総数は68名です。